

## 新たな前面衝突試験（MPDB）の試験方法・評価方法の作成等について

### 《背景》

- EuroNCAP では、新たな前面衝突試験方法として、車対車の前面衝突事故を模擬し、ムービングバリアと試験車両を両車走行させて衝突させる MPDB 前面衝突試験を 2020 年より開始した。
- MPDB 前面衝突試験は、従来からの自車保護性能評価に加え、ムービングバリアの変形や減速により加害性を考慮した相手車保護性能評価を同時に行うことができる。
- EuroNCAP では、運転席に新たな前面衝突試験用の成人男性ダミーとして開発された THOR ダミーを搭載している。
- 他の NCAP 試験でも MPDB 前面衝突試験導入の検討が進められており、JNCAP においても自動車アセスメントロードマップにおいて、令和6年度（2024年度）より「新たな前面衝突試験の自動車アセスメント評価導入」を掲げている。

### 《導入スケジュール案》

- 令和2年度（2020年度）
  - ・ EuroNCAP 試験条件の確認
  - ・ 日本の事故実態調査
  - ・ 日本の車両重量分布調査
 } 実施済み
- 令和3年度（2021年度）
  - ・ MPDB 前面衝突試験条件等の検討  
衝突速度・台車質量・オフセット位置・バリア・ダミー及び搭載位置
  - ・ 試験条件検討のための実車衝突実験
  - ・ 併せて現行の前面衝突試験・評価方法（フルラップ・オフセット）の再検討
- 令和4年度（2022年度）
  - ・ 試験方法・評価方法の策定  
評価部位・加害性評価・評価閾値・得点
- 令和5年度（2023年度）
  - ・ 試験方法・評価方法の確認（プレテスト）
- 令和6年度（2024年度）
  - ・ 評価開始

試験方法作成の方針については、以下の条件を基に検討したい。

- ・併せて現行の前面衝突試験・評価方法（フルラップ・オフセット）の再検討
  - ：オフセットを MPDB に置き換え
  - ：フルラップは継続して実施（ダミー搭載位置変更等の必要性、MPDB 試験をふまえた衝突速度のあり方については別途検討）
  
- ・MPDB 前面衝突試験条件等
  - ダミー及び搭載位置
    - ：THOR50%ダミーを運転席に搭載
  - 台車質量
    - ：1200kg
  - 衝突速度
    - ：50km/h
  - オフセット位置
    - ：50%オフセット
  - バリア
    - ：EuroNCAP で使用しているバリア

#### **継続検討事項**

- ・試験条件検討のための実車衝突実験
  - 今回整理された試験条件において、別車種で実車衝突実験を実施する。
  
- ・MPDB 前面衝突試験条件等の検討
  - ダミー及び搭載位置
    - 現行のオフセット前面衝突試験は、後席助手席側に HBⅢAF05 ダミーを搭載しているところ。現行オフセット前面衝突試験からの継続性を考慮して、後席助手席側に HBⅢAF05 ダミーを搭載することについて。
  
- ・評価方法の策定